

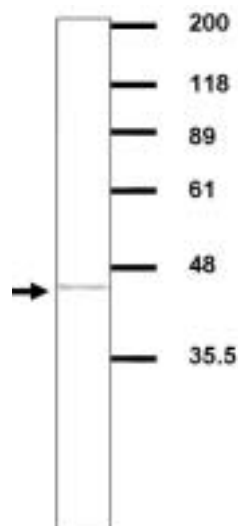
肥満・メタボリックシンドローム関連抗体  
**抗ヒト 3-AR ポリクローナル抗体**

アドレナリン(エピネフリン)は、副腎髄質より分泌されるホルモンであり、また神経節や脳神経系における神経伝達物質でもあります。ストレス反応の中心的役割を果たし、血中に放出されると心拍数や血圧を上げ、血糖値を上昇させることで知られています。

アドレナリン受容体には  $\alpha$  型と  $\beta$  型が存在し、 $\beta$  型には3つのサブタイプ(  $\beta_1$ -AR,  $\beta_2$ -AR,  $\beta_3$ -AR)が存在します。これらは発現部位が異なり、それぞれ心臓,呼吸器系,脂肪組織に発現します。

$\beta_3$  アドレナリン受容体は褐色脂肪細胞に多く存在し、脂肪分解や熱産生(エネルギー消費)に関与することから(参考文献 1,2)、 $\beta_3$  型糖尿病および肥満の研究分野で注目を集めています。また最近では、心不全の治療薬の標的因子として注目を集めています。(参考文献 3)。

容量	100 $\mu$ g (400 $\mu$ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒト $\beta_3$ -AR の C 末端側部分ペプチドを免疫したウサギの抗血清より、 ペプチドアフィニティカラムにて精製
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 5.0 $\mu$ g/ml



ウェスタンブロットティング

Sample: マウス脂肪抽出タンパク

肥満・メタボリックシンドローム関連抗体  
**抗 ヒト 3-AR ポリクローナル抗体**

【参考文献】

- 1 Skeberdis VA.:  
Structure and function of beta3-adrenergic receptors.  
Medicina (Kaunas). 2004;40(5):407-13.
- 2 Walston J. et al. :  
Time of onset of non-insulin-dependent diabetes mellitus and genetic variation in the beta 3-adrenergic-receptor gene.  
N Engl J Med. 1995 Aug 10;333(6):382-3.
- 3 Pott C. et al. :  
Beta3-adrenergic stimulation in the human heart: signal transduction, functional implications and therapeutic perspectives.  
Pharmazie. 2006 Apr;61(4):255-60.

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> [techstaff@transgenic.co.jp](mailto:techstaff@transgenic.co.jp)